

前項但書ニ依ル扶助中ニ員扶助規則第八條ノ原養期間ハ之ヲ一箇年トス又同第三條第一號ノ場合ハ全額ヲ支辨ス

一、要求第三ニ對シテハ現在ニ於ケル樽屋ハ其ノ製品ヲ會社若ハ個人釀造家ニ供給シ居ルトハ云ハ當該事業主力苦心經營ノ結果現在ニ到リタルモノニ依リ會社若ハ釀造業者ノ直營工場ト為スエトヲ得ストノ會社側ノ意見ハ今日ノ場合ニ於テハ每當ト認メヤルヲ得サルヘシ

一、要求第四ニ對シテハ會社ハ此ノ所謂聲明トハ大正十二年一月八日九日ノ兩回ニ於テ新制度發布ノ際會社ノ代表セシ釀造工本人日給一円八十錢ト定メタル際ノ但書中ニ「兩三箇月中ニ成績ノ如何ニ依リ相當振擢昇給セシムルモノトス」ト記載シアリタルニ依ルト解釋シ尙ホ所謂本聲明ハ當時交渉ノ結果之ヲ撤

回シ釀造工ノ本人日給ヲ二円ト定メタル結果消滅セルモノナリトノ見解ヲ持ス然レトモ本年一月ノ昇給ニ就ケタル者ニ就テハ會社ハ未レハ昇給時期ニ於テ各都別に計算セル定額平均給以下ノ者ニ對シ昇給上時ニ考慮ヲ拂フヘキコト

大正十三年七月十日

調停者

千葉縣知事 元田敏 氏

前記各條項ノ実行ヲ誓フ

會社代表者

醬油釀造組合惣代

前記各條項ノ下ニ誠意作業ニ従事スルコトヲ誓フ

工員惣惣代